〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

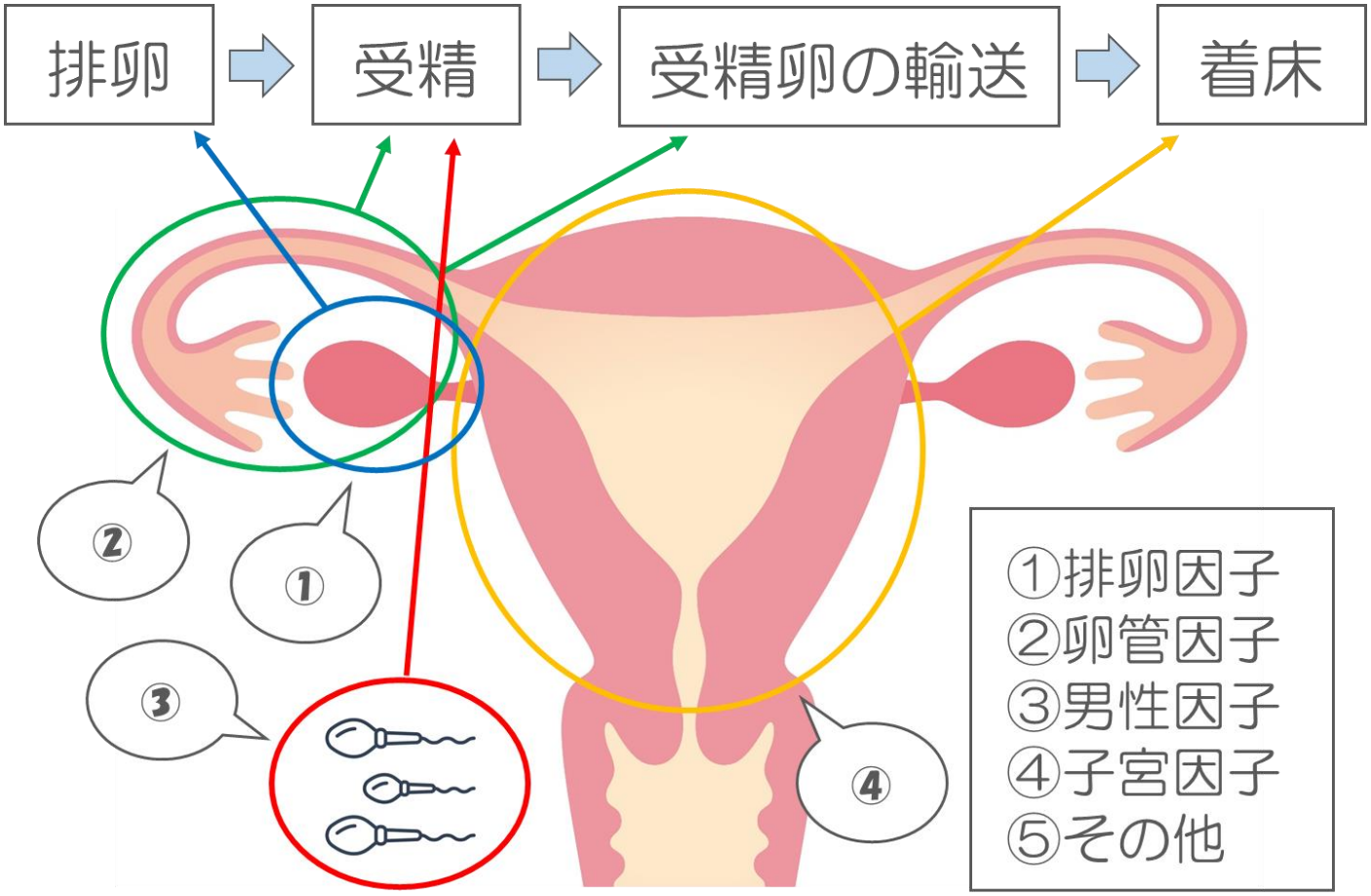
不妊スクリーニング検査について

妊娠を希望している健常なカップルであれば、６か月以内に約 70%、１年以内に約 90%が妊娠に至ります。逆に、妊娠を希望するカップルの 10～15%が不妊であると考えられており、どなたがこの問題に直面しても不思議ではない確率です。不妊外来を受診したカップルに一連の検査を行うと、女性側の約３分の２と、男性の約２分の１に何らかの原因が見つかります。治療法を決定する上で原因を詳細に調べることが重要となりますが、不妊症には多くの原因があり、網羅的に検査を行い、効率的に治療スケジュールを組み立てることが、結果的に早く妊娠することにつながります。

〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪不妊症の主要な原因≫

妊娠するまでには、排卵、受精、受精卵の子宮内への輸送、着床というステップがあります。不妊の原因として、これらのいずれか、または複数個所が障害されていることが考えられます。特に卵管因子、男性因子が存在する場合、治療方法が大きく限定されることがあります。

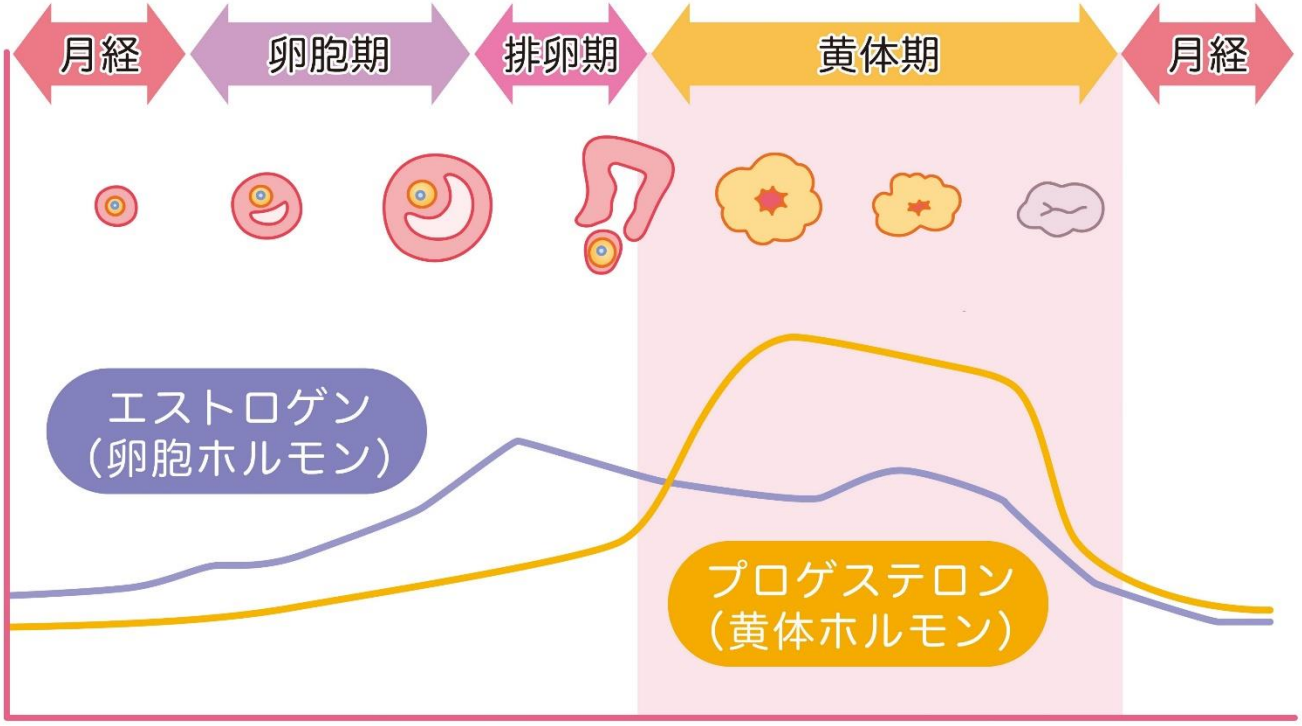


Ladies Medical Center
Nishikawa Clinic

〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪排卵因子とそれに対する検査≫

卵子は卵胞と呼ばれる袋の壁の中に存在し、排卵の際に外へ放出されます。月経周期は、基本的に卵胞の発育と排卵のタイミングで決定され、排卵の約２週間後に月経が発来します。月経期には卵胞は 10mm 未満と小さいですが、次第に発育し排卵直前には 20～22mm へ発育します。それに伴い、卵胞より分泌されるエストロゲン（E2）が上昇していきます。その後排卵し、発育した卵胞は黄体へと姿を変えます。排卵した後には、黄体からのプロゲステロン（P）分泌量が増加します。エコー検査と採血を使って、卵胞が発育しているか、排卵が起こっているかを確認することが可能です。



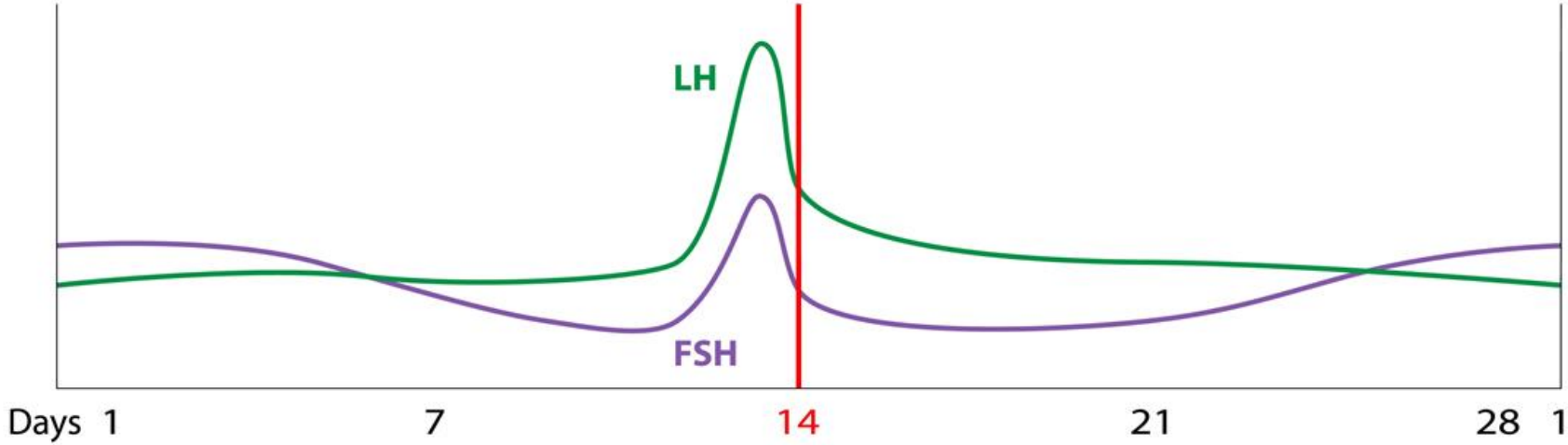
超音波検査 と 採血検査 で
卵胞発育があるか
排卵が起こっているか
詳しく調べることができる

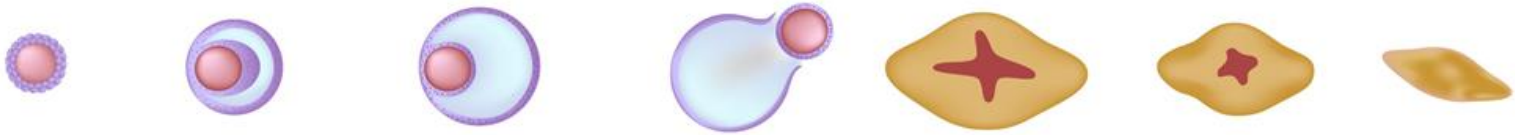
Ladies Medical Center
Nishikawa Clinic

〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

また、卵胞の発育や排卵は、卵胞刺激ホルモン（FSH）や黄体化ホルモン（LH）によってコントロールされており、これらのホルモンの分泌量を調べることも重要となります。排卵因子の原因として、高プロラクチン（PRL）血症、多嚢胞性卵巣症候群、卵巣機能の低下、ストレス、過度のダイエットなどもあります。テストステロン値も、排卵因子と関連があります。これらを調べることも、排卵の検査となります。

卵胞刺激ホルモン（FSH）と 黄体化ホルモン（LH）
によって卵胞発育、排卵が起こる





〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

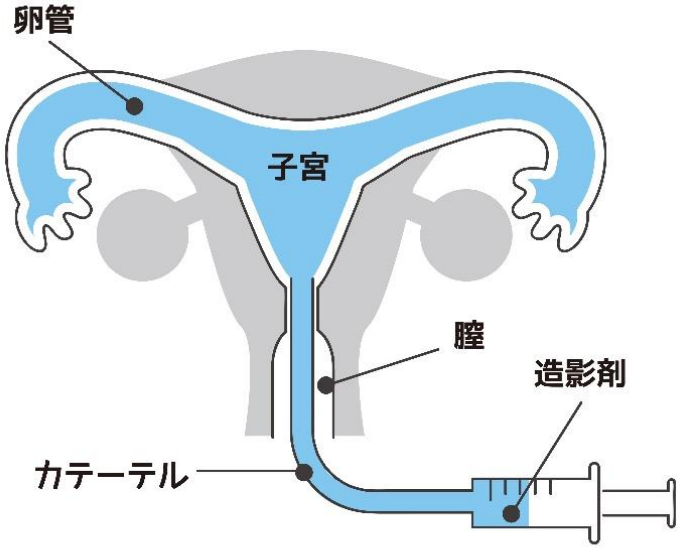
≪男性因子とそれに対する検査≫

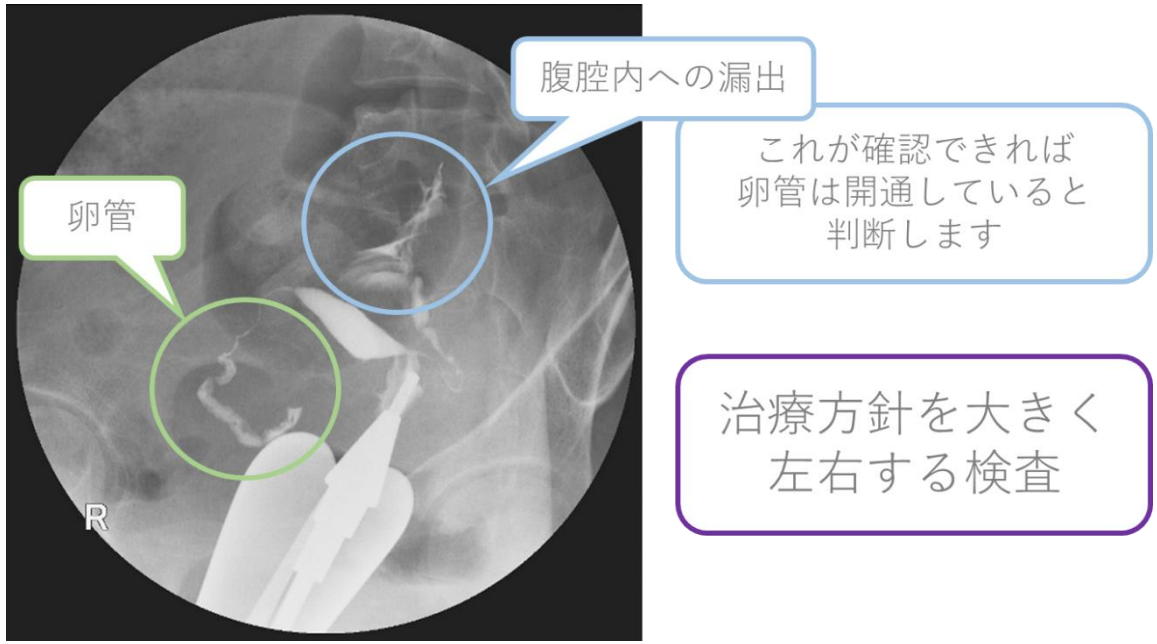
男性因子は『受精』と関係します。精液の検査を行い、精液量や精子濃度、精子の運動性などを評価し、スコアリングします。男性因子は不妊原因の実に50%を占めており、治療方針に大きく関わってくるため、精液検査は重要度の高い検査となります。

〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪卵管因子とそれに対する検査≫

卵管は『受精』と『受精卵の輸送』に関係します。卵管は妊娠の成立に関わる重要な部分であり、卵管閉塞や高度狭窄の場合、妊娠が成立しないことがあります。子宮卵管造影検査（HSG）とは、専用のカテーテルで子宮内に造影剤を注入し、Ｘ線透視下にレントゲンを撮像し、卵管の通過性や子宮の形態を確認するための検査で、不妊スクリーニング検査でも重要度の高い検査となります。子宮内に造影剤を注入すると、まず子宮内腔が描出され、その後両側の卵管が描出されます。腹腔内への漏出と拡散の具合を見て検査を終了します。必要があれば、少し時間をおいてから再度レントゲン撮像を行うことがあります。





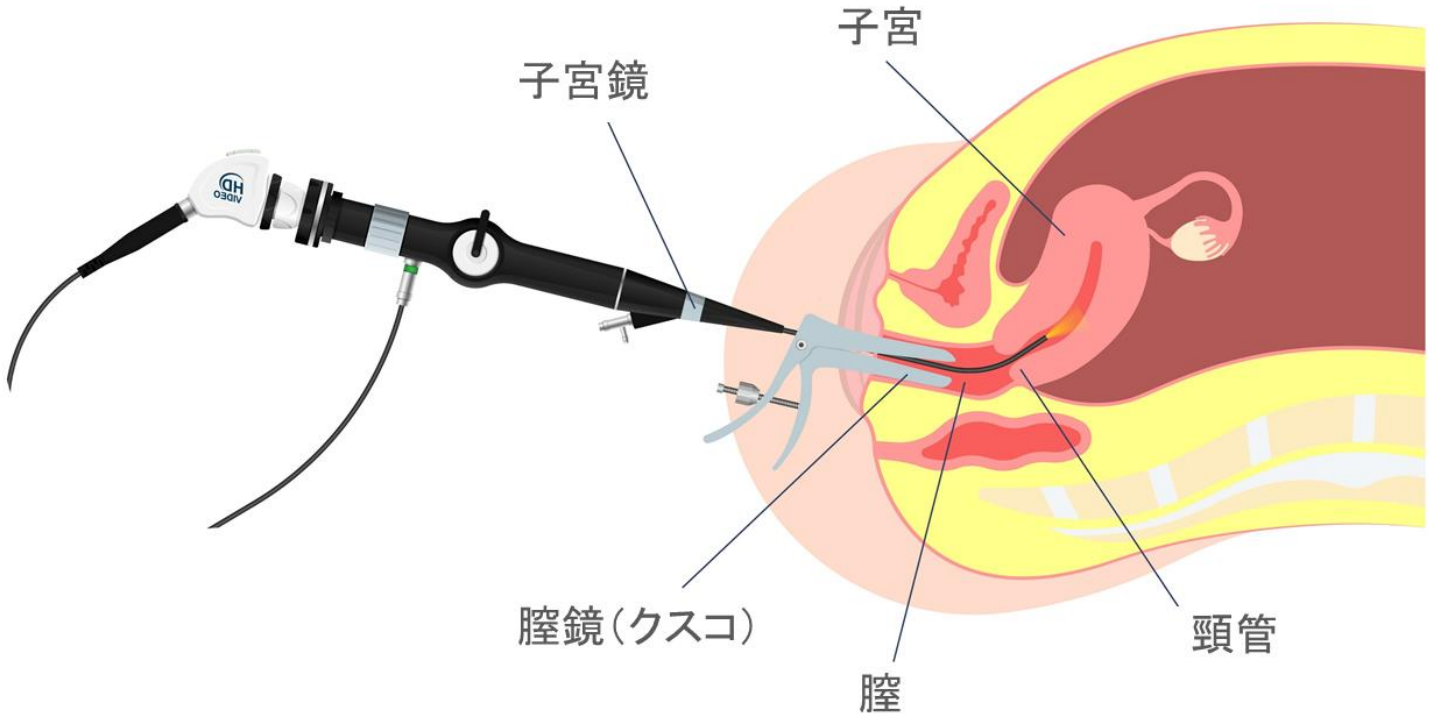
（参考画像：実際とは少し異なります）

Ladies Medical Center
Nishikawa Clinic

〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪子宮因子とそれに対する検査≫

子宮因子は『着床』と関係します。なかなか妊娠されない方や流産を繰り返す方、胚移植を実施するも出産に至らない方、不正性器出血を起こしている方、月経の量が多い方などの中に、子宮の内部に原因がある方がいらっしゃいます。子宮鏡検査（HFS）はそうした子宮内部の異常が疑われる方へお勧めする検査で、子宮内部を直接カメラで観察し原因を探ることができます。子宮鏡で観察できるものとして、子宮内膜ポリープや子宮筋腫、子宮腺筋症などの内腔へ突出する病変や、子宮内腔の癒着や、中隔子宮などの子宮形態異常があります。



〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪その他の原因とそれに対する検査≫

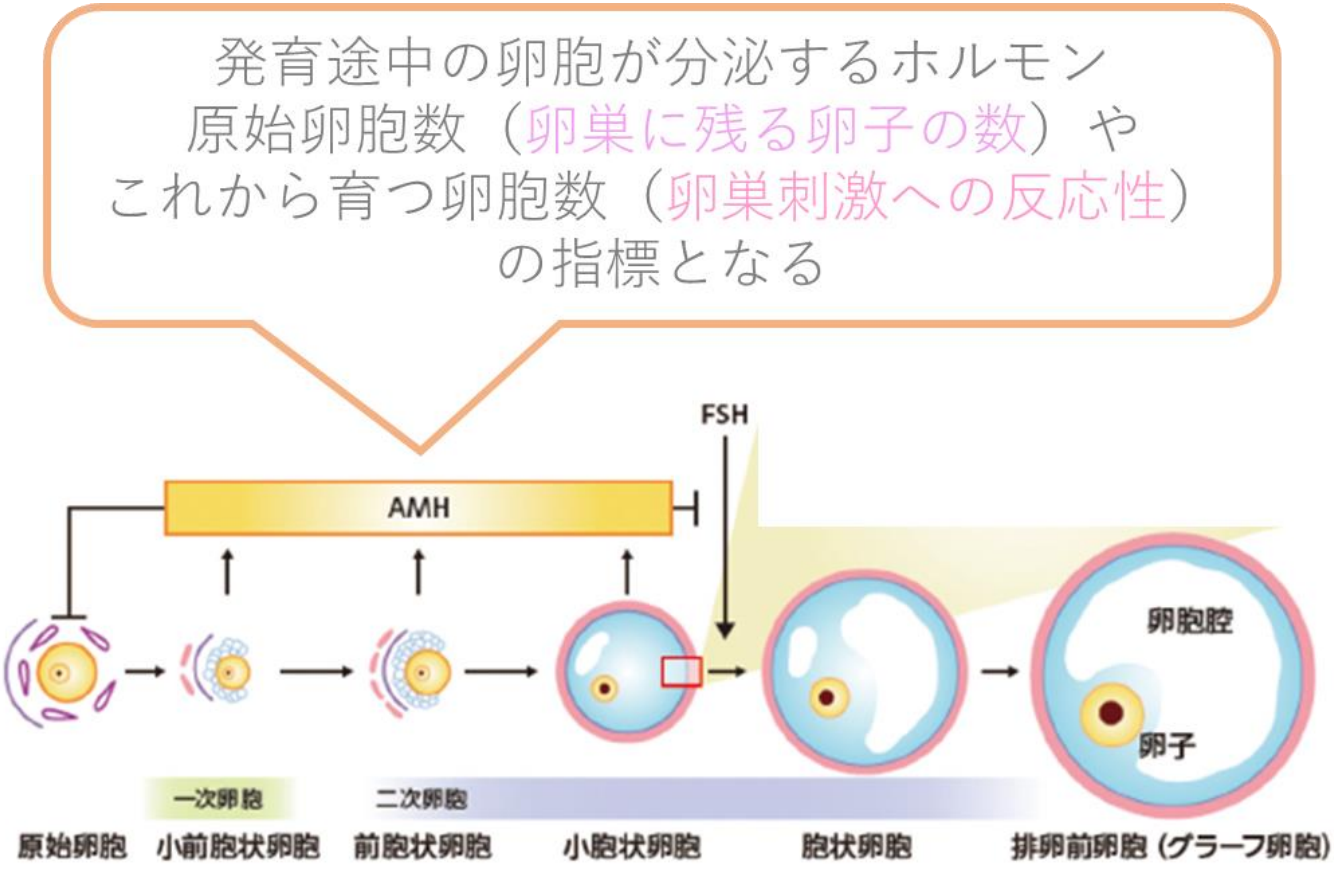
その他の原因として、免疫因子、頸管因子、甲状腺機能異常、黄体機能不全などがあります。

- 免疫因子として抗精子抗体があります。検査は採血で行います。抗体の強さによっては、タイミング療法や人工授精で受精が起こらず妊娠できないことがあり、体外受精（顕微授精）が必要になることがあります。
- 頸管因子とは、頸管粘液内へ精子が進入していないことが疑われる状態で、フーナー検査（性交後試験）で確認をします。
- 甲状腺機能異常では、治療を行わなければ、流産率の上昇をはじめとしたさまざまな妊娠の異常が起こるため、治療が必要となります。
- 排卵後のプロゲステロン値が低い場合、黄体機能不全として、お薬によるプロゲステロンの補充が必要となる場合があります。

〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪AMH について≫

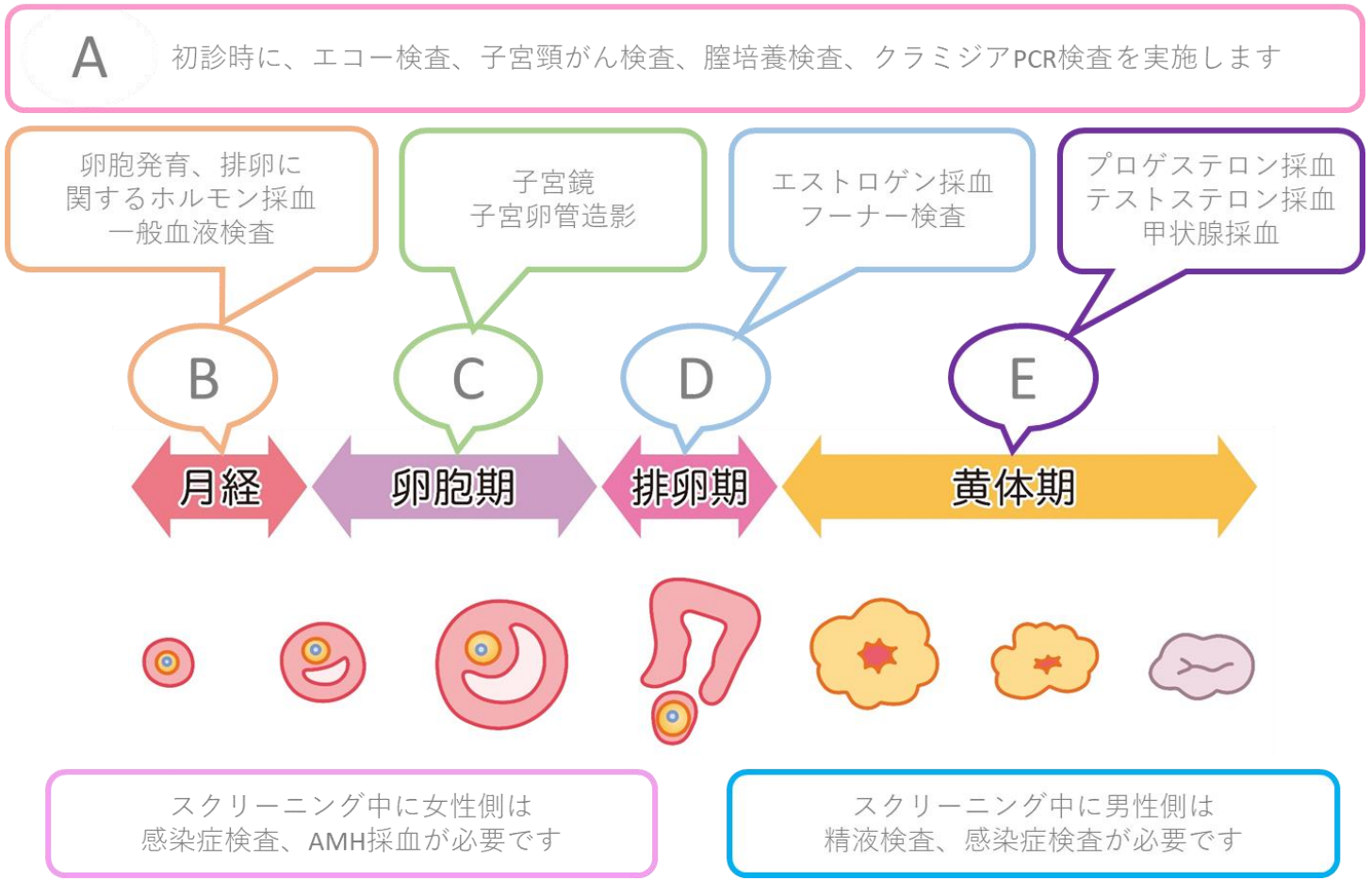
AMH（Anti-Müllerian hormone：抗ミュラー管ホルモン）は、発育過程にある卵胞（前胞状卵胞）から分泌されるホルモンであり、残っている卵子の数や体外受精で刺激に反応する卵胞数と深く関係します。AMH は妊娠率と直接の相関関係はありませんが、スクリーニング検査においてこれを測定する意義は大きく、AMH が低い方は効率良く治療を進めていく必要があります。



〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪スクリーニング検査の進め方≫

卵胞の発育と排卵の確認をしながら、それぞれの検査に適した時期に行っていきます。検査時期は主に A.初診時、B.月経中、C.月経終了～排卵前、D.排卵のころ、E.排卵の約１週間後となります。スクリーニング中にお二人の感染症検査を済ませておく必要があります。



〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町４丁目１－３
御堂筋三井ビルディング １階
TEL 06-6201-0317
https://www.nishikawa.or.jp/

≪スクリーニング検査終了後≫

スクリーニング検査が終了した後、これまでの検査結果の確認を行い、これらを総合的に判断し治療方針を決定します。治療計画の立案を行います。ご夫婦での受診が必要となるため、日程をご調整ください。また、婚姻関係を確認する書類を回収いたしますので、ご準備をお願いいたします。治療計画の立案と婚姻関係を確認する書類の回収を行わなければ、治療を開始することはできません。

ご夫婦での受診
が必要です

婚姻関係を確認する
書類をご用意ください

治療計画の立案
を行います